

THE ULTIMATE WISH:

NAGASAKI 1945

FUKUSHIMA 2011

ENDING THE NUCLEAR AGE

Film Showing "The Ultimate Wish" and Discussion 映画「究極のねがい」から考える

4月22日からスイス・ジュネーブで始まる「2015年NPT(核不拡散条約)再検討会議第2回準備委員会」のサイドイベントとして、長崎県・長崎市・長崎大学が認定する「ナガサキ・ユース代表団」が世界各国からの参加者を対象にワークショップを行います。

現地でのワークショップを前に、ここ長崎大学でも同じワークショップを開催します。映画上映、ディスカッションを通して、みなさんが<日本人>として感じたことを私たちと共有し、ジュネーブでのワークショップに反映したいと思います。

ジュネーブでのワークショップでは全て英語で行いますので、今回のワークショップも日・英のバイリンガルで行います。

日時: 2013年4月6日(土) 18:00-20:00

場所: 長崎大学 核兵器廃絶研究センター(RECNA) 1階会議室

内容: 映画「究極のねがい」の上映(約40分)
ディスカッション



RECNAの場所はこちら

THE ULTIMATE WISH: Ending the Nuclear Age

究極のねがい—核時代の終焉

2012年 | 39分 | アメリカ | 監督:ロバート・リクター | プロデューサー:キャサリン・サリバン

映画「究極のねがい—核時代の終焉」は、長崎の被爆者、そして福島からの自主避難者の忘れがたい証言に世界各地の研究者たちの見解が加わり、未だ広く認識されていない原子爆弾と原子力発電の密接なつながりを訴えるドキュメンタリーです。この映画は、戦争、技術の失敗、という根本的な問いかけをし、そして命を守るため、二度と核や原子力の惨状を繰り返さないために、私たちが今するべき行動はなにか。その答えへと導きます。 www.newday.com/film/The_Ultimate_Wish.html